

# カーボンニュートラルな 四日市を目指して

近年、地球温暖化への世界的な危機感は大きく高まっており、国内でも令和3年に地球温暖化対策法が改正されるなど、大きな転換点を迎えています。本市でも、地球温暖化対策実行計画の見直しを進め、今年2月には「2050年ゼロカーボンシティ宣言」をしました。宣言の意図や、実現に向けた市の取り組みを紹介します。



## What's カーボンニュートラル?

### カーボンニュートラルって、なに?

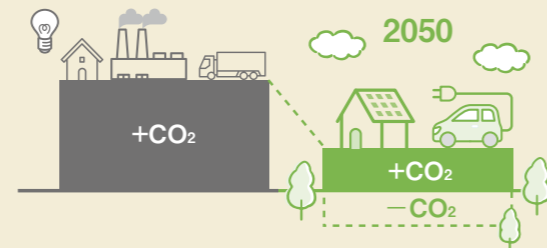
カーボンニュートラルとは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)などの温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。

### なんで、カーボンニュートラルが必要なの?

地球温暖化に代表される気候変動・気候危機を回避するためには、今すぐ取り組まなければなりません。そのため的手段が、カーボンニュートラルです。

### 世界で目指すカーボンニュートラル社会

必要なことは…  
●排出量を減らす ●吸収量を増やす



カーボンニュートラルを達成するために、四日市市はどうしていくの?



## 温室効果ガス削減に向けて本市が目指す姿

### ゼロカーボンシティ宣言

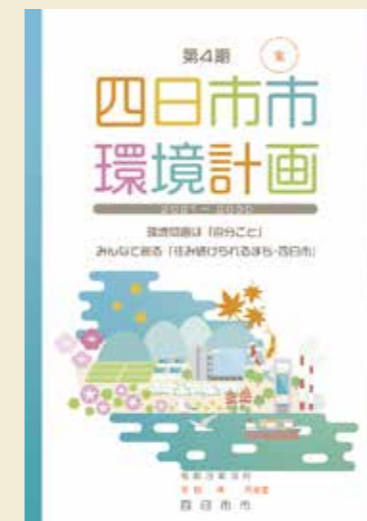
本市は、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることを旨とする「ゼロカーボンシティ」を令和5年2月に宣言しました。

この宣言は、本市が、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向け、行政のみならず、市民や事業者と一体となって、その実現に向けて取り組んでいく決意を示したものです。

脱炭素社会の実現を目指します



宣言を掲げる市長



### カーボンニュートラル実現へ向けた環境計画の改定

#### 改定の背景

我が国での、温室効果ガス排出量の削減目標の上方修正、カーボンニュートラル社会を目指すなど、世界の潮流として加速する地球温暖化対策の動きに対応するため、令和3年3月に策定した「第4期四日市市環境計画(令和3年~令和12年度)」とそれに含まれる「四日市市地球温暖化対策実行計画」を中心に改定します。

脱炭素対策を加速!!



#### 主な改定内容

- 国のマニュアルや、県に準じた温室効果ガス排出量の計算手法の見直し
- 2050年カーボンニュートラル実現を目指した削減目標の上方修正
- 再生可能エネルギー導入目標の策定
- 2050年カーボンニュートラル実現を目指した将来ビジョン、ロードマップの作成
- 温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みとして、具体的な施策の強化

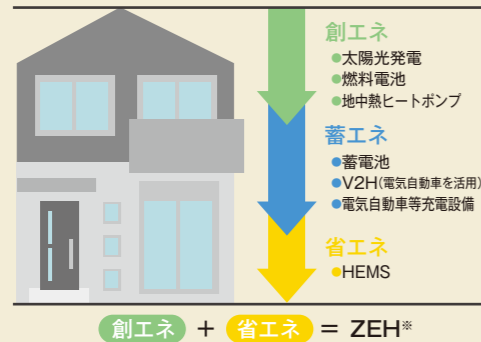
## 本市の取り組み

### 地球温暖化防止対策の補助制度

#### ●スマートシティ構築促進補助金

温室効果ガスの排出を抑制するため、市内の住宅に導入する創エネ・蓄エネ・省エネ設備へ補助をしています。令和5年度から新たに電気自動車等充電設備を補助対象としました。

また、太陽光発電設備と蓄電池とHEMS（家庭用エネルギー管理システム）など、より効果的なエネルギー管理ができる組み合わせの設備を同時に導入した場合に、補助金が加算されるメニューも新しく用意しています。



※ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）  
エネルギーの自給自足でエネルギー収支をゼロ以下にする住宅

#### ●水素供給設備整備事業補助金

水素の普及促進と地産地消を図るため、水素供給設備（水素ステーション）の設置への補助をしています。

### 環境教育

#### ●地球温暖化対策の出前講座

コンビナート企業など市内企業の協力を得て、小学校で地球温暖化対策の授業をしています。



#### ●ごみ減量啓発の出前講座



ごみの適切な分類が減量につながることを伝えています。



### 四日市公害と環境未来館

常設展示「四日市の現在と未来」エリアでは、地球温暖化を含むさまざまな環境問題について、「自分ごと」と考えられるよう体験・体感型の展示をしています。また、環境に関する講座を多数開催しています。



常設展示「四日市の現在と未来」



環境学習講座

### 令和5年度実施予定

#### ●燃料電池自動車導入促進補助金（FCV補助金）

温室効果ガス削減に向け、次世代自動車の導入を支援します。

走行時に温室効果ガスを排出しないエネルギー源として期待される、水素の需要拡大を図るため、新たに水素を燃料とする燃料電池自動車（FCV）の新規購入への補助をします。



#### ●EVバス導入促進補助金

公共交通での移動の脱炭素化を図るため、市内のバス路線へEVバスを導入するための補助をします。



## 事業者の取り組み



### 三岐鉄道 EVバス（自家発電→EV）

#### 脱炭素社会への貢献

今年4月から、大型EV（電気）バスの運行を開始しています。運行時の炭素排出を抑えるのはもとより、ゼロエミッション（排出ゼロ）を目指し、社屋に設けた太陽光パネルで作った電力で、EVバスを運用することに取り組んでいます。初めての取り組みに不安は尽きませんでしたが、日本初となる100%太陽光発電由来の電力だけによるEVバス運行を実現しています。

利用客からは、通常の車両と比べて、「静かで、快適」という感想や、乗ってみたいという声が届いています。実は、バスのラッピングも四日市の街をイメージしたデザインで、親近感からかとても好評です。

「サンサンエレビー」という名称とともに、EVバスをより身近に感じていただければと思います。弊社は、鉄道事業も含めて、公共交通の一端を担う事業者として、脱炭素社会の実現という社会課題に今後も貢献していきたいと思っています。



社屋に設置した太陽光パネル EVバス：サンサンエレビー



三岐鉄道（株）  
自動車部運行管理課課長  
伊藤真郷さん

### 四日市コンビナート2050年カーボンニュートラル化に向けた検討報告書

2019年度には、本市で排出されたCO<sub>2</sub>の総量約730万t\*のうち、約74%の約540万tが産業部門から排出されています。本市臨海部コンビナートとしてカーボンニュートラルを実現するために、事業構造の大幅な変革が求められています。

その中で発生する様々な課題の解決に向け、投資を呼び込み、新エネルギーの利活用、カーボンニュートラル社会に貢献する素材供給など、新たな産業を生み出す必要もあります。

この目標達成に向けて、事業者、国、県、市、関係機関が連携を図るとともに、専門家の知見を取り入れながら将来の四日市コンビナートのあるべき姿や方向性を打ち出すため、令和4年3月に「四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会」を設置し、令和5年3月に検討報告書をまとめました。

\*エネルギー起源のCO<sub>2</sub>を計上 [HP ID 1679455386872](http://1679455386872)

#### 四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会

コンビナート企業	学識経験者
国（中部経済産業局・中部地方整備局）	四日市商工会議所
	四日市港管理組合
四日市市・三重県	

### カーボンニュートラル社会の実現へ実効性のある施策の構築を今後も期待しています

昨年初めまでは完全に白紙であった四日市コンビナートのカーボンニュートラル化の方向性がわずか一年弱で取りまとめられたことに企業と行政の本気度を感じました。この一年、立地企業と行政がしっかりと議論し、今後の良い指針が得られたと思います。

私自身は、全国各地のコンビナート地域と関わっていますが、「県と市の協調」、「企業と行政・消防との連携」という点ではここ四日市が全国で最も優れています。また、AIやIoT、ドローンの活用でも四日市は全国から注目されています。

今後も企業や行政などの関係者が共通の認識をもって取り組み、2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、検討委員会でもまとめられた方向性をより実効性ある形により深化させて欲しいと思います。四日市がカーボンニュートラル社会の先導役となり、環境先進都市として広く知られようになることを期待しています。



四日市コンビナートのカーボンニュートラル化に向けた検討委員会委員  
成城大学経済学部 経営学科教授  
平野創さん



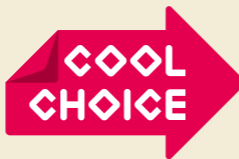
# 一人ひとりが取り組む地球温暖化対策



## クールチョイスの推進

クールチョイスとは、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量削減のために、カーボンニュートラルな社会づくりに貢献する「製品への買い換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」=「クールチョイス」をしようという取り組みです。

具体例：



## ゼロカーボンアクション30

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。ひとりひとりができることをまとめた「ゼロカーボンアクション 30」を参考として、できるところから取り組んでみましょう。



<b>エネルギーを節約・転換しよう！</b> 1 再エネ電気への切り替え 2 クールビズ・ウォームビズ 3 節電 4 節水 5 省エネ家電の導入 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう 7 消費エネルギーの見える化	<b>太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！</b> 8 太陽光パネルの設置 9 ZEH (ゼッチ) 10 省エネリフォーム 窓や壁などの断熱リフォーム 11 蓄電池(車載の蓄電池)・省エネ給湯器の導入・設置 12 暮らしに木を取り入れる 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択 14 働き方の工夫	<b>CO<sub>2</sub>の少ない交通手段を選ぼう！</b> 15 スマートムーブ 16 ゼロカーボン・ドライブ	<b>食ロスをなくそう！</b> 17 食事を食べ残さない 18 食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫 19 旬の食材、地元の食材で作った菜食を取り入れた健康的な食生活 20 自宅でコンポスト
<b>サステナブルなファッションを！</b> 21 今持っている服を長く大切に着る 22 長く着られる服をじっくり選ぶ 23 環境に配慮した服を選ぶ	<b>3R (リデュース、リユース、リサイクル)</b> 24 使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う 25 修理や修繕をする 26 フリマ・シェアリング 27 ゴミの分別処理	<b>CO<sub>2</sub>の少ない製品・サービス等を選ぼう！</b> 28 脱炭素型の製品・サービスの選択 29 個人のESG投資	<b>環境保全活動に積極的に参加しよう！</b> 30 植林やゴミ拾い等の活動

# みんなで応援します!あなたのカーボンニュートラル

## ●太陽光パネル・蓄電池の共同購入(三重県)



三重県では、温室効果ガス削減の取り組みの一つとして、太陽光パネル・蓄電池を多くの人が一緒に安心してお得に購入・設置できるキャンペーンをしています。電気代の削減だけでなく、災害時の電源確保にも役立ちます。

また、本市の「スマートシティ構築促進補助金」の要件を満たす場合は、併用できます。

問い合わせ先

三重  
みんなのうちに  
太陽光事務局  
☎0120-728-300



購入プランは3パターン

<b>1 太陽光パネル</b>  発電した電気を自家消費 電気代を節約！	<b>2 太陽光パネル + 蓄電池</b>  昼間発電した電気を 夜間に使えて、災害対策にも！	<b>3 蓄電池</b>  太陽光パネル既設 卒FIT*にオススメ！
-----------------------------------------------	----------------------------------------------------------	---------------------------------------------

太陽光パネル・蓄電池の共同購入とは

再生可能エネルギーの普及促進

自治体

参加者

施工事業者

みんなで参加できる！  
安心のサポート！  
簡単に手続きができる！  
市場価格よりおトクに購入できる！

多くの注文を獲得・計画的に販売・施工

暮らしに節約！災害に安心を！  
太陽光・蓄電池のメリット

- 昼間発電した電気はリアルタイムで使えます。
- 電気代を節約しながら、売電収入で購入費用を回収できます。
- 停電時は、自立運転機能に切り替えると停電用コンセントから1,500W相当の電気製品が使えます。
- 製品により使用できる合計消費電力は異なります。
- 昼間発電した電気を蓄電池に貯めて夜間も使えます。
- 停電時は、簡単な切替で貯めた電気を使えます。

例 7.04kWh容量フル充電されていた場合、テレビや携帯の充電、照明、冷蔵庫などの機器(約435W)を約12時間、連続使用可能。

\*卒FIT:再生可能エネルギーを固定価格で買い取るFIT(固定価格買取制度)の適用期間が満了した状態

## ●省エネリフォームを支援(国土交通省・経済産業省・環境省)

住宅省エネ2023キャンペーン

<b>1 こどもエコすまいる支援事業</b> エコ住宅設備の設置などのリフォームで、原則最大30万円、子育て世帯や若者夫婦世帯であれば、ZEH住宅の新築で100万円の補助が申し込めます。	<b>2 先進的窓リノベ事業</b> 高性能な断熱窓への省エネ改修で、工事内容に応じて定額を補助します。(上限200万円)	<b>3 給湯省エネ事業</b> ①家庭用燃料電池(エネファーム)、②ヒートポンプ給湯器(エコキュート)、③ハイブリッド給湯器を設置する場合に、定額を補助します。(①は15万円、②および③は5万円)
--------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

上記1～3は、まとめてワンストップで申し込めます。

問い合わせ先

住宅省エネ2023キャンペーン  
補助事業合同お問い合わせ窓口  
☎0570-200-594



カーボンニュートラル社会の実現には、「市民・事業者・行政」の連携・協働を図り、ともに取り組むことが重要です。将来の世代が安心して暮らせる環境を引き継ぐために、あなたのできることから始めてみましょう。



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は 環境政策課 ☎354-8188 FAX354-4412  
工業振興課 ☎354-8178 FAX354-8307